

平成 17 年度 第 10 回理事会 抄録

日時:平成 18 年 3 月 14 日(火)PM6:30~

場所:社会医学技術学院

出席者:田村・山田・大塚(三役)、川淵・富永・小林・長井(理事)、米本(事務局長)、丸野(財務部長)、田辺(保険部長)、村山(福祉用具委員)

【報告事項】

1. 事務局

- 1) 会員数 1520 名 会費全納者 1152 名(75.5%) 未収金 2,330,000 円
- 2) 障害者自立支援認定審査会の審査委員  
杉並区、北区、豊島区、八王子は推薦者決定。文京区、江東区で新たに推薦依頼あり。
- 3) 東京都看護協会より看護フェスタ開催への協力要請あり、広報部にて検討
- 4) 都内各学校に卒業の祝電を送付した。

2. 各部委員会

1) 保険部

- ・アンケート結果(2 月末〆切) 120 返答/250 印刷  
データ入力に関しては今後事務局と検討予定  
“診療報酬関係の勉強会開催”“技術研修”  
“HP の整備”といった意見が寄せられる。
- ・5 月のニュースに社会保障制度改革に関する改訂事前研修会の案内を掲載する。

2) 財務部

- ・3 月 20 日締め、23 日に会計作業を行う。
- ・3 月のニュースに会費納入案内を封入する。

3) 法人化委員会

- ・公証人役場で公正証書を作成中、今月中に認可申請を目指す。

4) 広報部

- ・3 月のニュース発行予定
- ・看護フェスタは昨年同様 OT 相談を予定
- ・18 年度 都士会の新しいパンフレット作成中

【検討事項】

1. 都士会総会議案書について

議案書の表紙に中間法人東京都作業療法士会  
設立総会を併記し、会員の入会についても文書にて通知していく。 (承認)

(事業報告)

1) 法人化担当

施設名簿は保険部で作成(会員名簿は今後)  
登記にあたり、三役などの会員名簿を作成。

2) 教育部

研修会実施の原案に関し、削除および訂正箇所の確認

3) 学術部

事業報告に関し、学術部長に確認が必要

4) 福祉用具委員会

福祉機器展にて作業療法の紹介と福祉機器との関連についてパネル(制作は都士会全体からの費用)で紹介し、相談コーナーも設けた。

原案の「福祉機器展が協会広報と連携」は削除して良い。 (承認)

(事業計画)

1) 教育部

都士会開催の研修会を計画。会員からは技術研修の要望もあり、内容を検討中。

2) 保険部

原案通りで問題ない

3) 学術部

・学術部の事業計画は第5回東京都作業療法士会への協力と、学会誌の発行に絞ってはどうか？

・学術部と学会の関係に関しては、学術部が学会を企画し学会長を任命。学会長が学会実行委員を招集する。

4) 福祉用具委員会

原案の「機器の貸し出しを行う」について、機器などに関する相談と貸し出しの検討ということで田中委員長に確認する (承認)

2. 平成 18 年度予算案について

1) 教育部

前案から講師謝金が修正された。また、アルバイトも含め旅費交通費が増加している。

2) 選挙管理委員会

問題なし

3) 保険部

・業務量を考えると今の 12 名の部員では足りず、状況に応じて補正予算で修正していきたい。

・FAX や TEL での連絡が多く、個人負担にしない方法の検討が必要。アンケート集計や施設名簿などの個人情報も扱うため、専用のものを消耗品費などで用意していくとよい。

4) 福祉用具委員会

・18 年度の HCR は、神奈川県士会との協力になる可能性あり(分担などは未定)

・HCR のカタログ掲載費用は委託費で計上

・機器の保管費用やメンテナンス費用は今後検討が必要と思われる。 (承認)